

# 部活動における地域人材活用の取組

鹿児島県  
宇検村立田検中学校  
全校生徒数42名  
(男子24名 女子18名)  
電話番号 0997 (67) 2023

## 実践内容

### 実施目的

- ①地域における専門性をもった人材を活用し、部活動における競技能力向上を目指し指導を充実させることで生徒の体力向上を図る。
- ②競技に精通している人たちから専門的指導を受けることで、競技特有の技能を高めるとともに、部活動を通して競技の本質に触れそのよさを味わわせることができる場とする。
- ③地域指導者には保護者もあり、学校の教育活動と連携して指導に取り組めるようにし、学校教育と深く関連付けた部活動の運営を推進することで生徒の体力向上、健全育成に役立てる。

### 実施内容

#### 1 地域のスポーツ人材を活用した指導の専門性の向上

本校は現在男女バレー部・剣道部・柔道部が活動している。いずれの部活動の指導には、コーチとして保護者や地域の方々も協力していただいている。平成21年度からは、「地域スポーツ人材の活用実践事業（文部科学省）」を活用し、地域の方々の中でも特に各競技の専門性のある方（剣道は5段・柔道は4段等）に部活動の指導をお願いし、技術の向上に努めている。また、その他にも、競技の経験者で専門的な技能をもつ保護者や地域の方々にも指導に協力いただいております。学校の顧問と保護者、地域が一体となって部活動の指導にあたることで、指導の専門性が向上し部活動運営がより充実してきた。

#### 2 基礎体力づくりの取組

時間に限りのある部活動で地域指導者による専門性を生かした技術面の指導を重点的に行えるよう学校生活の中でも体力づくりに取り組んでいる。走ることを運動の基本と考え、基礎体力づくりのために始業前にランニングを実施している。原則として希望者であるが、部員仲間で話し合い集団で自主的に走る等運動の習慣化につながっている。

#### 3 地域の指導者を活用した部活動の取組

##### (1) 練習前の顧問とのミーティング

長期・短期の練習計画はもちろん、その日の練習についても綿密に打ち合わせを行っている。

##### (2) 指導の実際

剣道部・柔道部においては指導者の方も防具・道着等を身に付け生徒たちと実際に練習を行っている。バレー部においても実際にゲームの中に入って直接指導を行っている。長年の経験から指導に専門性があり生徒も理解しやすく信頼関係も高い。

##### (3) 練習後の顧問とのミーティング

練習の反省・明日以降の練習の計画の打ち合わせを行うとともに、練習時における生徒の様子等についてもお互いに意見交換を行うようにしている。

### 実施上で工夫したこと

- ①生徒の負担過剰にならないように心がける。勝利至上主義にならないように顧問と部活動指導者の連携・意見交換を深める。保護者とも連携を深め、意見の集約に努め部活動に反映するように心がける。
- ②生徒の健康管理をしっかりと行う。顧問の教員は学校での様子等を指導者に伝えその生徒の健康状態に配慮した練習計画を立てるように心がける。

## 主な成果

- ①外部指導者の専門的な指導により、技術や基礎体力の向上が図られるとともに、自主的に体力づくりに取り組む姿が見られる等運動の習慣化につながっている。
- ②外部指導者の活用により、柔道部は団体戦3年連続地区大会優勝。県大会は4位に入賞。個人では九州大会に2名出場した。また、剣道部女子は3年連続地区大会準優勝を果たし県大会へ出場。女子バレーボール部は昨年30数年ぶりの県大会出場を果たした。地域人材活用により運動の習慣化が図られ技術力とともに基礎体力が向上した成果である。



顧問・指導者打ち合わせ①

練習計画確認



指導の実際①

レシーブ指導



顧問・指導者打ち合わせ②

練習計画確認



指導の実際②

乱取りにおける指導の様子



指導者打ち合わせ

練習計画確認



指導の実際

道着・防具を着用しての指導



早朝ランニング

【運動部活動への加入率（平成22年度）】

部活動数（6）、全校の加入率（95%）

（1年） 男子（88%） 女子（100%）

（2年） 男子（87%） 女子（100%）

（3年） 男子（100%） 女子（100%）

【新体力テストの結果の比較】

※（ ）内は田検中が県平均を上回っている種目数

《平成21年度》 《平成22年度》

（1年） 男子（4）、女子（4） → 男子（7）、女子（8）

（2年） 男子（4）、女子（4） → 男子（7）、女子（7）

運動部活動への入部率が高く、部活動での地域人材活用により全校的な体力向上につながっている